

「組織経営のためのナレッジ体系化」へ結びつける 1

ー 自分はどう動けばいいの？会社の方向性を知るためのナビゲーターは売上の数字だけ？ー

【だれがどのようにアクションのための情報を集めるか】

1. いろいろなところに DB ができて、情報が散在している
2. エクセルで作って、その場限りのレポートのためになっている
3. 定常的に最小限必要な状況をモニタリングできる仕組みはどうすればできるのか
4. いつでも競合状態やコストの要因、プロセス進捗度や問題解決の事例がわかる
5. 未来志向で情報を成功のために有機的に結び付けたい

先の見えない時代、こんなことがいつも把握できているといいですね。

カーナビのすばらしいところはいつでも自分の位置がわかること、目的地への行き方と距離がわかることです。別の見方をすると、未来を見ることができます。

カーナビは定常的に衛星の電波を捉えて差異を計算し、地図に位置をプロットしています。

会社や組織にも成功への地図やカーナビがあるといいですね。

まずは自分の位置をしっかりと捕まえましょう。定常的に捉えて、目標との距離を確認しましょう。

ロードマップは次のとおりです。ノーツ DB 活用の具体的ヒントとして当社資料「ノーツ活用すぐわかるシリーズ」をご参照ください。小さな部門からスタートできます。

【A: お客様の興味のある場所】

お客様の興味、競合の動向は定常的に捉えていますか？

営業日報や営業情報 DB を活用しましょう。捉えるポイントは、買っていただいた理由や競合状態です。

アンケート DB やクレーム情報 DB もプロセスの改善などに役立ちます。

【B: お届けするまでのプロセス】

進捗度は定常的に捉えていますか？

営業プロセスの把握や工程管理共有が必要です。

営業情報 DB や工程管理 DB、ワークフローDB をビジュアルに活用しましょう。

【C: 生み出す力】

人や設備の持っている力、協力業者の能力は定常的に捉えていますか？

キャリアや資格などのリソースや成功要因につながる経験はいつもまとめていますか？

キャリア資格 DB を活用しましょう。

【D: 売上との突合せ】

予算管理にもコスト、時間、品質の要素を捕らえることが必要です。結果としてお客様からいただいた売上金額が上記の A,B,C の努力に見合うものか、突き合わせてみたいものです。

【目的地はいつもはっきりしていますか、みなさん同じですか】

社員それぞれが、ノウハウは持ってもゴールが違っていると、力は発揮できませんね。向かう方向は何ですか？ゴールは何ですか？注力する成功要因は何ですか？

中期計画、方針管理、目標管理、ISO などいろいろなところがありますが、共有されていますか？いつも見直すことができますか？

これを中心に構成したコミュニケーションと展開の仕組みの必要性が大きくなってきました。ADBS は現在の傾向とともに、いつでもゴールを確認することができます。

【ゆでガエル – 時の流れは認識にくい】

いつのまにか年をとってしまう。運動会で転ぶお父さんはよく見かける光景です。健康診断を行うように、今までの努力の足跡を気軽に確認できるようにしましょう。

レポートिंगにとどまらない情報や経験の蓄積とトレンド分析への利用。ADBS にはそんな観点で作られたソリューションともいえます。

【キーワードは「定常的に、見やすく、そして今あるものを活用」】

Cuber はいろいろなノーツ DB に散在するデータを見やすく加工集計してくれます。ノーツの柔軟性、入力・操作の容易さ、セキュリティを生かし、弱点だった表現力をカバーしてくれます。

エクセルの活用との組み合わせや柔軟性中心の一時的利用からステップアップ、エージェントによる自動化で定常的にモニタリングを共有できます。

【組織的に使うソリューション ADBS へ】

目標管理から今話題のバランススコアカードまで使える「組織経営のためのナレッジマネジメントソリューション – ADBS」は今までのことを統合するポータルです。Cuber とノーツ DB でモニタリングしてきたことも ADBS に Cuber 機能が含まれていますので無駄になりません。さらに ADBS では、自分の位置がわかったとき、そしてそれがずれていたとしても、成功へのルートにもどるアクションは貴重な成功、失敗経験として一部始終を保存することができます。これは自社だけの成功要因にリンクした、真の組織経営のためのナレッジマネジメントにつながります。

経験に裏打ちされたノウハウや情報を共有して協働作業に役立てることがナレッジマネジメントの基本です。

まずは Cuber で今あるノーツ DB を生かしましょう。定常的なモニタリングと共有を進めましょう。

ビジュアル化することは、どうアクションを起こせばいいのかにつながってきますね。社員ひとりひとりが考えて行動することを求められている現代に、必要な羅針盤、フィードバックです。

【なぜ今までできなかったの？】

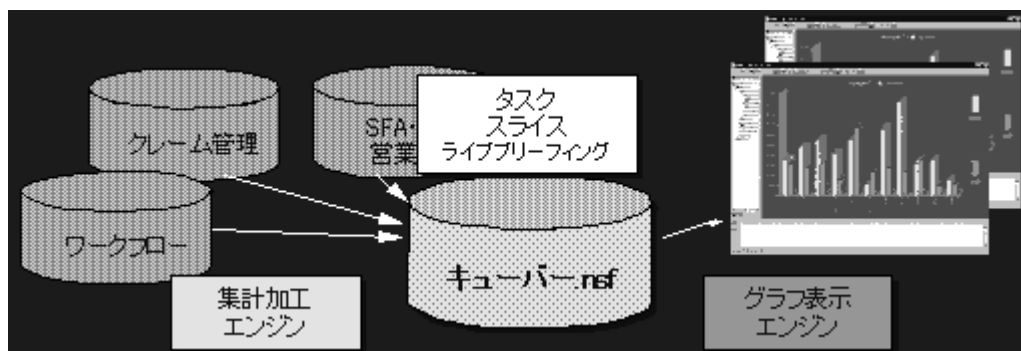
ナレッジマネジメントはデータの保存と検索が中心だと思っていた

ビジュアルに表現するツールが無かった

エクセルでレポートング中心に行われていて、定常的なモニタリングが共有できなかった

【ノーツと Cuber ならすぐにスタート！】

定期的なグラフの更新もエージェントで自動化することができます。また、将来の目標管理や BSC



への利用にもステップアップすることができます。ノーツで無理なく入力、Cuber で整理共有。